

第16回 西日本技術士 研究・業績発表年次大会

技術士再考

2010年11月26日(金)~27日(土)

会場 奈良県文化会館(奈良市)

主催 (社)日本技術士会近畿支部
共催 中国支部・九州支部・四国支部
奈良県技術士懇談会
後援 国土交通省近畿地方整備局 奈良県

ご挨拶

中国、四国、九州、および近畿、西日本3支部の技術士が一堂に会して、互いの技術を確認して交流を深める、恒例の西日本技術士研究・業績発表年次大会。今回は錦秋に彩られた古の都、奈良で開催いたします。平城遷都1300年にちなみ、薬師寺長老の安田瑛胤師をお招きして『世界をまほろばに』と題する特別講演をお願いしました。歴史を通して技術士の心を再考することができればと思います。技術士はじめ多数のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

実行委員長 北村友博

2010年11月26日(金) エキスカーション (13:00~17:00)

13:00 近鉄樫原線・西ノ京駅 改札・集合〔4時間程度〕

見学場所 西の京(薬師寺)~平城宮跡(大極殿・朱雀門)

薬師寺・原事務局長と寺社建築の石川棟梁のご案内で天平の文化と建築を味わって頂きます。

2010年11月27日(土) 分科会 (10:30~15:15)

第1分科会 (テーマ) 地域活性化と技術士の役割

平城遷都1300年祭の企画に見る地域活性化効果、地域に密着した技術士活動のありかた

【基調講演】 「地域活性化と技術士の役割」

大阪府文化センター・理事・元建設省近畿地方建設局企画部長 高野 浩二 氏

第2分科会 (テーマ) 地場産業・伝統産業の再生

歴史と風土に育まれた伝統産業および地場産業は、今後どのように脱皮し再生を図るべきか、その中で技術士の役割をさぐる

【基調講演】 「奈良県産業の現状と課題」

奈良県 産業雇用振興部 次長 小島 義巳 氏

第3分科会 (テーマ) 今、求められる技術士像とは

社会が求める技術のプロフェッショナルの在り方をさぐる

【基調講演】 「今、求められる技術士像」

京都工芸繊維大学名誉教授(工学博士) 大田 陸夫 氏

2010年11月27日(土)

大会式典

(15:30~17:00)

大会式典 (テーマ) 『技術士再考』

(1) 15:30 式典

(2) 16:00 特別講演 『世界をまほろばに』

薬師寺長老 やすだ えいいん 安田映胤 師



昭和13年岐阜県岐阜市生まれ。12歳の時入山し、橋本凝胤師に師事。

龍谷大学文学部仏教学科卒業、同大学院修士課程修了。

法相宗宗務長、法相宗管長、薬師寺管主を歴任。

現在、薬師寺長老、薬師寺21世紀まほろば塾塾長、岐阜地蔵寺住職、(財)世界宗教者平和会議

日本委員会 常務理事、日中韓国際仏教交流協議会常任副理事長、国際仏教興隆協会 理事長。

昭和38年宗教者平和使節団員としての、ヨーロッパ各国の宗教者との懇談を皮切りに「世界平和」

を願い、各国を訪れている。主な著書に「心の道しるべ」「この道を行く」「人生の四季を生きる」

「花のこころ」「まごころを生きる」「五つの心」等がある。

(3) 17:00 総括

2010年11月27日(土)

レセプション

(17:30~19:30)

大会会場(文化会館)の向かい側、登大路ホテルで開催します。森精機株式会社の迎賓館として建設され、リーガロイヤルホテルが運営する会員制高級ホテルです。古都、奈良にマッチした落ち着いた雰囲気の中で、一流シェフの料理と美酒で交流のひと時をお過ごしください。



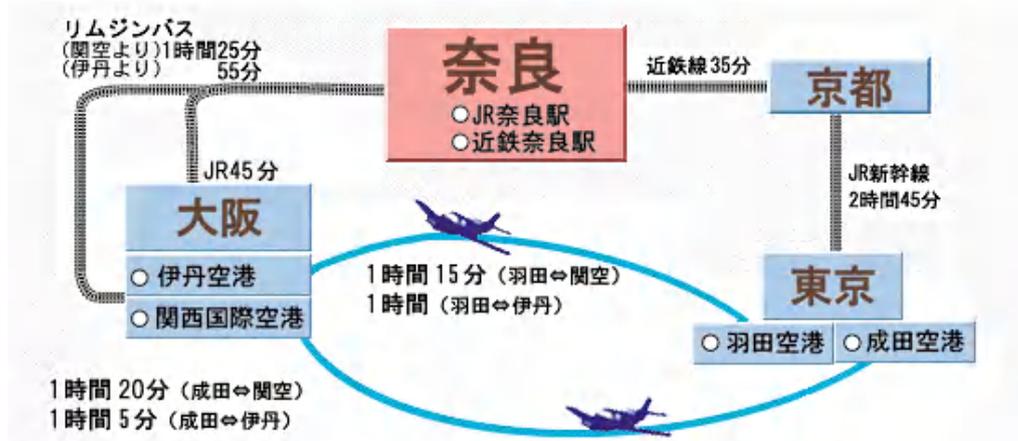
参加費

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 大会・分科会(論文集・昼食込み) | 5千円 |
| (2) レセプション(ビュッフェ形式・西洋料理) | 8千円 |
| (3) エキスカーション(タクシー・拝観料込み) | 4千円 |

7月1日から参加申込受付〔別紙ご記入の上、Faxにて近畿支部までお申込下さい〕

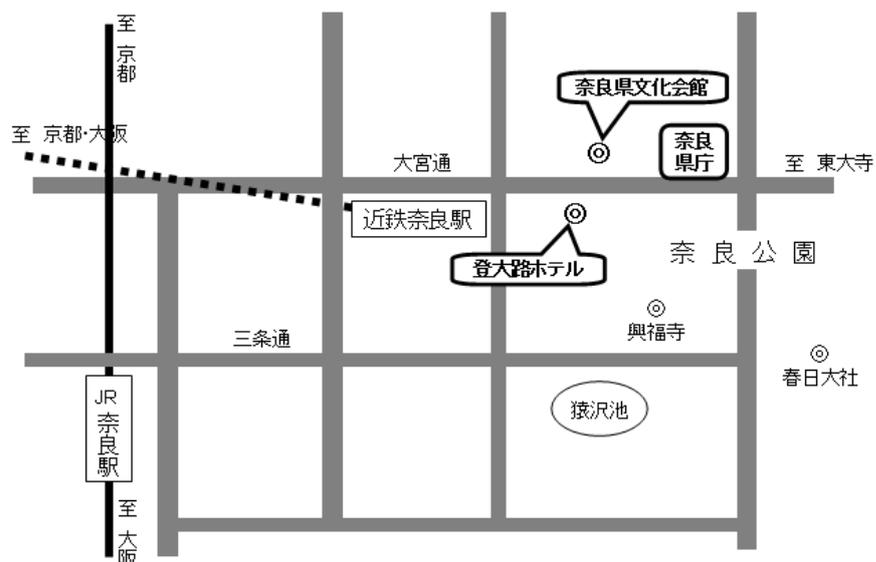
※ ご宿泊のご手配は各自でお願いします。観光シーズンのためお早めのご予約をお勧めします。

主要地域からのアクセス



遠距離地区		関西地区	
九州から	福岡～(新幹線)～京都 京都～(近鉄)～奈良〔約3.5時間〕 飛行機(伊丹空港, 関西国際空港から近鉄なら駅まで直通リムジンバス)〔約2.5時間〕	京都から	近鉄特急: 30分 JR: 40分
中国から	広島～(新幹線)～京都 京都～(近鉄)～近鉄奈良〔約3.0時間〕	大阪から	JR大阪: 45分 JR天王寺: 35分 近鉄難波: 35分
四国から	徳島～(高速バス)～OCAT(難波) ～(近鉄奈良線)～奈良〔約2.5時間〕	神戸から	阪神三宮から 近鉄直通で75分

奈良県文化会館へは・・・(近鉄奈良駅から徒歩3分です)



お問い合わせは (社)日本技術士会近畿支部
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目9番15号
 近畿富山会館ビル2F Tel/Fax: 06-6444-3722
 E-mail: pe@ipej-kenk.jp URL: http://www.ipej-kenk.jp

近畿支部御中 FAX 06-6444-3722

第 16 回 西日本技術士研究・業績発表年次大会参加申込書

氏名	
部門	
会員・非会員	
〒・住所	〒
電話番号	
メールアドレス	

参加内容・費用内訳・お支払方法

月日(曜)	項目	参加費	○を記入してください
26日(金)	エキスカーション	4千円	出・欠
27日(土)	分科会	5千円	1・2・3
27日(土)	式典・特別講演		出・欠
27日(土)	レセプション	8千円	出・欠

10月31日までに全額を以下の口座にお振込下さい。

振込先	預金種別	口座番号	口座名義
富山第一銀行大阪支店	普通預金	027786	(社)日本技術士会近畿支部

論文申込

①氏名, ②部門, ③論文タイトル, ④要旨, を近畿支部「西日本大会係」までメールにて送付下さい(pe@ipej-knk.jp)。折り返し論文書式(MS-WORD)を送付いたします。

(申込は8月末日締切り、論文本体の締切りは9月末日)

論文執筆要領

社団法人日本技術士会近畿支部
第 16 回西日本技術士研究・業績発表年次大会
実行委員会

□ 原稿の書式

- ◆ 原稿には以下の内容を必ずご記入下さい。
 1. 和文タイトル
 2. 著者名、技術部門
 3. 和文アブストラクト
 4. キーワード(5 語句程度) 本文(タイトルも含む)に必ず出てくる語句でかつ記載順に並べて下さい。
- ◆ 各ページには 1 点の図か、表か、写真が入るレイアウトを基本とします。図表、写真のサイズは概ね 60mm×80mm 程度で判り易いものとします。図表、写真はそのまま原稿に貼り付けたもの(デジタルデータ)をご用意下さい。
- ◆ 本文は 22 字×41 行の 2 段組みで 4 ページとします。ベタ打ち(標準設定のまま、段落が変わるとき以外は改行しない)にして下さい。
- ◆ 見出しは以下の形をお願いします。

大見出し： 1. 2. … (前一行空けて下さい)

小見出し： 1.1 1.2 1.3… (前一行空けて下さい)

以下(1)(2)(3)、a.b.c. の順ですが、極力小見出しまでに収めて下さい。
- ◆ 著者紹介は、①現在の勤務先・所属等、②資格、③連絡先(E メールアドレスまたは電話番号、FAX 番号等)の内容とします。

□ 留意事項

- ◆ カタカナは全角を、英数字は半角を使用して下さい。
- ◆ 特殊な専門用語等は、() 内で簡単に説明するか、脚注で説明して下さい。脚注の場合はそのつど原稿用紙の下部を使用して下さい。文中には*印(*1…)を入れ、説明は各節の段落に入れて下さい。
- ◆ 原則として英字の略語は初出のところで () 内にスペルを記入して下さい。

□ 引用文献

- ◆ 引用は引用順に番号をつけて、文中にはその番号を右肩に示して文末の文献と対応させ、引用した文献の頁数も必ず記載して下さい。転載不許可の文献からの図・表・写真の引用に当っては、著者各位にて原著者の許諾を得て下さい。
- ◆ 引用文献の書きかたは、著者名、論文名、雑誌名(書名)、巻号、ページ、発行所、発行年月日の順に記入して下さい。英文の文献の場合は名(イニシャル)、姓とします。著者数が多い場合は第一著者のみ上記の規則によって記入して下さい。

□ 参考文献

- ◆ 参考文献の書き方は、著者名、論文名、雑誌名(書名)、発行所の順に記入して下さい。英文の文献の場合は名(イニシャル)、姓とします。著者数が多い場合は第一著者のみ上記の規則によって記入して下さい。

□ 原稿の送付先 (原稿は電子データ(Word)をお願いします)

E-mail : pe@ipej-knk.jp

CD、FD 等で郵送される場合は、「論文在中」と明記し、下記宛に送付して下さい。

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル 2 階

(社)日本技術士会近畿支部「西日本大会実行委員会」